

肥後 洋一郎 <http://y-higo.net/>

2017年冬号

# GO! HIGO JOURNAL 肥後洋一郎



公明党 大阪府議会議員 肥後 洋一郎 府政事務所 〒572-0835 寝屋川市日之出町2-5 園貫々堂ビル203号 TEL:072-812-3140 FAX:072-812-3145

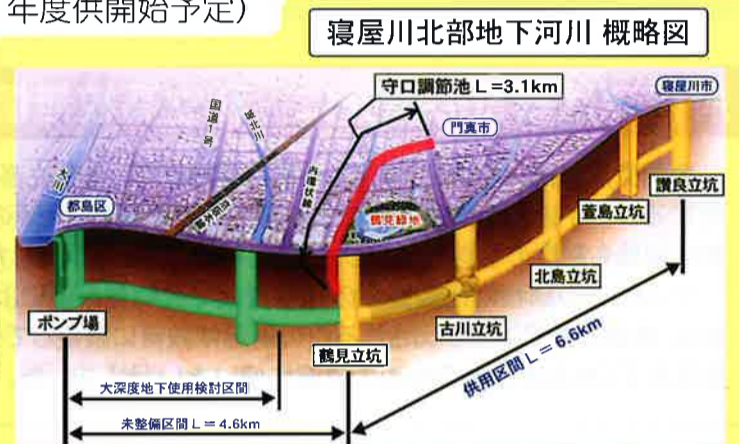
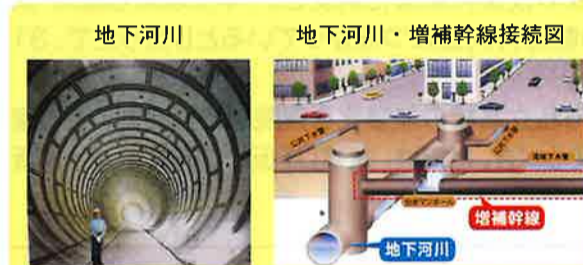
## さらなる治水対策の強化を! 「寝屋川北部地下河川の早期完成を求める」



9月定例会で質問する肥後議員

浸水被害を大幅に軽減する寝屋川北部地下河川の整備状況と今後の取組みについて質問しました。現在、地下河川とそれにつながる下水道増補幹線で25mプール約1,000杯分に当たる約35万m<sup>3</sup>の雨水貯留が可能。今年度末にはさらに5万m<sup>3</sup>増の約40万m<sup>3</sup>の雨水貯留が可能となります。また守口調節池の工事を進めており、完成すれば、6万m<sup>3</sup>増の46万m<sup>3</sup>の雨水貯留が可能になります。(平成32年度供開始予定)

地下河川としては全国初となる大深度地下使用法の今年度内の認可申請をめざし国と協議を進めています。



## 安心・安全なまちづくりを推進 「密集市街地対策」～対馬江 大利線事業～

延焼遮断帯としての整備効果が高く、交通の利便性と安全性の向上を図り、良好な都市環境を形成するため、対馬江大利線事業を進めています。この事業の「見える化」を促進するため、まちの姿を分かりやすくイメージできる看板設置を5月定例会で求めていましたが、11月27日、府民の目に付きやすい、寝屋川市駅前と高柳栄町に設置されました。また、府は、地区ごとにまちの燃え広がる危険性を色分けし、道路や公園の整備状況を分かりやすく示した「密集ハザードマップ」を地元市と調整の上作成し、今年度末の公表を目指します。



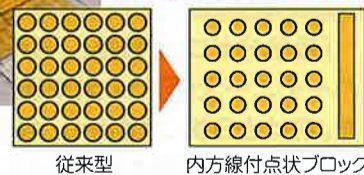
寝屋川市駅前イメージ看板

完成イメージ ▶



## 鉄道駅のホームからの転落防止対策を! 「内方線付点状ブロック」の設置

視覚障がい者の3人に2人が経験しているといわれるホームでの転落事故を防ぐため、「可動式ホーム柵」とともに、「内方線付き点状ブロック」の設置を求めました。線状の突起が無い従来型のブロックはすでに普及しているものの、転落防止の効果がより期待できるものとして、今年度末までに府内にある全512駅の内、1万人以上の乗降客がある全ての駅303駅に設置されることとなります。視覚障がい者が駅のホームを安心して利用できるように、府内の約500駅全てに「内方線付き点状ブロック」が一日でも早く設置されるよう、府としても鉄道事業者に強く働きかけていただくよう要望しました。



## 大阪府が「LINEいじめ相談」を開設



大阪府の小中高校で認知件数が年間1万件を超え、深刻さを増す「いじめ」問題。今の子ども達にとって相談しやすい環境をつくるため、従来の電話相談に加え、10代のメインのコミュニケーション手段となっている「LINE」をいじめ相談に活用することを10月の一般質問で大阪府知事に求めてきました。府は2018年1月に、府立高校10校程度で「LINE」を活用した「健やか相談@大阪府」を試行実施し来年度の本格実施を目指す事を明言しました。

◀ LINE いじめ相談を想定した研修会 (関西カウンセリングセンター)

★ 府政に対するご意見、ご要望をお寄せください。